

様式1

平成25年度 年度 事業評価書

評価対象期間	平成25年4月～平成26年3月分
施設名	鳥取市歴史博物館
指定管理者名	公益財団法人鳥取市文化財団
指定管理期間	平成23年4月～平成28年3月
施設所管課名	鳥取市教育委員会事務局文化財課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	4	3	聞き取り	館の管理及び運営に関する協定書、仕様書を基本に実施している。朝礼、週例で情報の共有を図るとともに、課題等については施設長会議に諮り、課題解決を図っている。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り 組織図確認	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	4	3	聞き取り	学芸員の資質向上のため「東京文化財研究所7/8-7/19」、「文化財虫菌害研究所3/4-3/7」へ研修、資格取得のため派遣した。また、AEDを使用した救命講習を実施し、救命知識の向上に努めた。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	4	3	聞き取り	月別入館者数をグラフ化し、入館者の傾向を施設長会議で共有し、入館者増への対策を検討実施した。下半期に入館目標数を44,000人に定め、その達成率を確認した。
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞き取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞き取り	オオチダニ、ホテル鑑賞期間にホテルの会に協力していただき、夜間開館を実施し多くの方に入館できる体制をとった。また、高砂屋事業と連携し(わが家の菜刀さん)、地域活性化事業に貢献した。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	4	3	聞き取り 書類確認	入館者にアンケート記入していただき、その内容をチェックし、職員全員で内容を共有し、問題点を協議した。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞き取り	博学連携事業チラシ配布実施。学校からの依頼が増加した。老人施設に向き来館を促した。また、「中島菜刀展」では、出身の八頭町に依頼し、町報及び有線放送を活用したPRを実施した。また、鳥取県埋蔵文化財センターと共催展を開催し、入館者増に貢献した。(とっとり発掘物語展)
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	4	3	聞き取り	指定管理以外で文化財害虫のモニタリングを月1回チェックし、虫の発生を監視している。
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	4	3	聞き取り	委託業者による保守点検はもとより、職員が日々巡回し目視による点検を行った。小修理(外壁)、防水等修繕箇所が判明したものは早期に対応した。
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	4	4	聞き取り	冷暖房(チラー)装置の異常(停止)が何回か発生したが、保守点検業者と密に連絡を取り対処した。エラーコードにより、故障原因を把握することができた。
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	聞き取り 書類確認	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	4	3	聞き取り	室温を適切な温度に設定し空調電力を抑える努力を行った。また、発注による業者間の競争性で適正な入札実施で経費節減した。

IV. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	4	3	聞き取り	お客様から預かった個人情報は目的以外には使用していない。また、個人情報が記載されたペーパーで不要になったものはシュレッダー処理した。
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	4	4	聞き取り HP確認	自館ホームページでは最新の情報を随時入れ替え、情報提供した。また、職員が毎週交代して「やまびこのわ」を掲載している。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	4	2	聞き取り	調査結果は館が発行する「年報」で統計として、グラフなどで公開している。
24	市への報告体制が確立されているか	4	3	聞き取り	緊急の場合はもとより、報告事項等があれば、随時電話・メールにて報告協議した。
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	4	3	聞き取り	リスク・危機管理マニュアルを作成し職員がいつでも見ることができる場所に置いた。また、緊急連絡先も見える場所に掲示した。全職員名札の裏に「緊急時の行動」表を入れ緊急時に備えている。

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	1.常設展示の老朽化・陳腐化が進むなかで、主催事業に加え共催・貸館事業により特別展示室の開館日数を増やし、来館者の満足度の向上と入館者数の増加を図りました。 2.博学連携により新たな冊子の配布や鳥取市文化財団全体の指定管理施設の年間行事予定一覧を作成し、教育施設としての博物館の利用向上に努めました。 3.その結果、平成12年(40,063人)開館以来過去最高となる44,045人/年の入館者数を達成しました。
施設所管課	7施設の指定管理施設を管理している指定管理者では、平成25年度単年度で合計1,200万円の剰余金が出ており、また、前年度までも多額の剰余金があり、経営状況は問題ない。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	1.遺族からの寄贈資料を含む「中島菜刀展」を開催し、城下町とっとり交流館高砂屋との連携事業を追加して、埋もれかけた菜刀の画業を紹介し、再評価することで地域の文化資源の発掘に貢献しました。 2.年度当初予定していなかった「とっとり発掘物語展」を、鳥取県埋蔵文化財センター主催、鳥取市教育委員会及び(公財)鳥取市文化財団の共催で開催し、2～3月にもかわらず2,585人の入館数を得て、多くの市民の方々に薬研堀など最新の埋蔵文化財の発掘成果をご覧いただけました。
施設所管課	学芸員の研究成果等の蓄積により、特別展や企画展等が実施されており、展示内容については来館者の期待に応え得る水準であり、今後もレベルの高い展示を期待している。平成25年度の入館者数が44,045人と開館以来最高となっており、貸館効果があるものの、成果が表れている。

4. 総括コメント

指定管理者	1.常設展示のPCの老朽化OSサポート切れにより修理対応すらできない展示が徐々に増えており、全面リニューアルが望ましいが、少なくともシステムの全面的な改善が必要であると考えます。 2.揺動装置撤去後のフリースペースの活用のためには、展示ケースの追加を望みます。 3.ヒートポンプチャラー内部の腐食が年々進行しています。故障が起きても受注生産機器のため緊急対応が出来ない場合が想定されます。一般空調のみならず収蔵庫の24時間恒温恒湿にも支障をきたすので、数年以内に予算化し事前に対応すべきと考えます。
施設所管課	合併10周年となるが、常設展示に新市域の内容がほとんどない状態である。新市域の研究も進め、パネルやブリカ等での新市域関連の展示を増やしていただきたい。また、時代に合わなくなったブラウン管等での映像展示についても、別の展示に入れ替えしたり、収蔵資料を活用するなど、やり方は様々であり、検討いただきたい。

確認方法	書類、聞き取り、現地確認
------	--------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている